

トピックス

第13号

広瀬町下山佐の田部石材株式会社を経営されている田部哲朗さん（石材業）が、宮城県丸森町で開催された「第二回日石展（日本石塔展覧会）」で見事最優秀賞を受賞されました。

今回のテーマは「鎮魂・東日本大震災 石塔・石仏展覧会」とい



田部さんは、『身に余る光栄で誠に有り難いと思っています。この作品は地水火風空が一体となり、大地にどっしりと根を下ろし、長い歳月を耐え抜く力強さと、良い意味での泥臭さを表現できたと思っています。そして、この大震災を忘れてはならないことと、犠牲者の方の無念の思いを鎮め、この地の平穏が永遠に続くようにと渾身の思いを込めた五輪塔です』と語っておられました。

うことで、震災で亡くなられた方々の慰霊や追悼のために、日本の石工による石塔・石仏として質の高い作品を被災地に設置することを目的とされています。

この最優秀賞を受賞された作品「一石五輪塔と反花座」は、気仙沼市の清泉寺に設置されることになっています。

田部哲朗さん最優秀賞を受賞

第二回日本石塔展覧会

ジョイメイトしまねは、会員の福利厚生をサポートします！

働くみんなのサポーター

ジョイメイト

しまね

- 健康診断
人間ドック
6,000円
補助
- 割引指定店
5%以上
割引
- 各種
チケット
購入補助
- ツアー
2,000円
割引
- ジョイメイト
推奨ツアー
1,000円～
10,000円
補助
- 宿泊付
忘・新年会
2,000円
補助
- 資格取得試験
受験料の1/3以内で
10,000円
を限度に
補助
- お食事割引券
抽選でお一人様に
1,000円
プレゼント
- 永年勤続
5年に1度
5,000円～
10,000円
給付
- その他
祝い金・見舞
金等給付

会費は
1人月額
1,000円

まずはお電話ください！ 安来市商工会 ☎ 32-2155

地域経済の発展は

安来市議会議員さんと意見交換会



厳しい経済状態が続くなか、地域経済の発展について話し合うため、工業部会主催の安来市議会議員並びに商工会役員及び工業部会員との意見交換会が十一月十三日安来市商工会で開催されました。今回は①地域存続のための公共事業と過疎化対策について②まちづくりのための空き家対策と人口増加策について③安来市建設計画についての、三つのテーマを設定

し、市議会議員さん八名を含む会員など三十名が出席しました。

はじめに各市議会議員の皆様は、テーマの中からそれぞれの取り組みや考えに基づき、公共事業、イローバスやＩターンなどについてご指導いただきました。

その後の意見交換会では、出席した部会員から、「松江市のように公共工事で少額のは地元へ発注してほしい」「イエローバスは文化と同じで採算を度外視していいのではないか」。また、「人を増やすことが重要である。広告塔になるような斬新なアイデアを期待したい」。などの要望や意見がありました。

最後に祖田工業部長から「空き家を高齢者住宅として利用し、福祉専門学校と介護などで協力できるとよいのでは」との提案がありました。

市街地や生産には住民や労働力が重要です。まちに賑わいを創出

する原点は人が住み交流することが必要となります。商工会も地域に貢献するために何をどうすべきか、そのための計画づくりが求められています。

経済変化に対応した経営を

経済セミナー開催

十月二日（火）商工会館において「最近の経済情勢と株式市場」をテーマに、東京のNPO法人エイプロシスから証券カウンセラーの矢野正義さんを講師に招いて、株式市場と経済情勢について勉強会を行いました。

矢野先生のお話の内容は次の通りでした。

『株式市場（経済）は日本だけ

この意見交換会で出席者それぞれが、地域の振興のためにどうすべきかを改めて考える良い機会となったのではないのでしょうか。

で動くわけではない。海外の経済状況や事件・事故などが国内経済に対して大きな影響を与えることが分かつている。特に経済のグローバル化が進む現在社会においては海の向こうの事件が大きな影響を与える。また、政府が変われば経済対策に対する姿勢も変わる。

政府が大きな需要の供給者であり、景気対策や金融政策などは経済に対して大きな影響力を与える。中小企業の経営においてもこのような外部環境の変化を敏感に感知し、経済変化に柔軟に対応した事業経営をしていただきたい。』

なお、商工会では会員の皆様方が事業経営に役立つと思われる、このようなセミナーや勉強会を今後にも計画いたしますので、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。



▲講師の矢野正義氏

中小企業会計啓発・普及セミナー開催

株式会社山陰経済経営研究所地域振興部長の遠藤勵志氏を講師に、「会計を経営に生かす」と題し、講演を行いました。

遠藤氏は、企業を存続させ続けるためには、企業経営の実態を表す信頼性のある決算書類が不可欠です。また、経営者自身が自社の

経営状況や財務内容を的確に把握し金融の円滑化を図っていくためには、経営理念や経営方針を利害関係者に伝え、経営情報を開示するなどの環境整備が重要な課題となっている。

そして、『中小会計要領』に基づく「適切な会計処理による決算

書」を作成することで、経営者が自社の経営成績や財政状態などを数字という具体的な基準で知ることができ、また、会社の経営状況を金融機関や取引先などの外部者に示すことができ信頼が生まれる。

また、『事業経営には経営理念がもつとも大切。経営理念がなければ社内でもベクトルが合わず、コミュニケーションが滞り、社内

不調和やモチベーションの減退がおき、それが顧客に伝わり業績が低迷する。難しく考えないで、社員が何のためにここで働いているのか、豊かになるために、社会の誰かに貢献するため、明確な理念を持ち、業績を伸ばしていける、「いい会社」を作っていた方がいい。』と強調されました。

新入会員紹介

山陰中央新報比田販売所

梅林 守 (新聞販売業)

広瀬町西比田

原田興業

原田京一郎 (溶接業)

伯太町母里

第9回しまね商工会女性部員の集い



11月12日に松江市くにびきメッセにおいて開催された女性部員の集いに、安来市商工会より10名の部員が参加しました。

開会式で、女性部事業の推進に貢献された祖田勝子さん

に対して、県女連の大谷会長より感謝状が贈呈されました。

また、席上で平成23年の500円玉募金では全国で4100万円集まり、東北三県に1500万円ずつ分配、残りは災害対策引当金に充てたと報告がありました。

元斐川町社会教育指導員の杉原周太氏による『みんなが住みよい街～迷信・差別と人権』をテーマとした人権同和講演会、元TBSアナウンサーの宇井美智子氏による『今こそ「天の時・地の利・人の和」を活かそう』をテーマとした講演会が開催され、3B体操の四部構成で行われました。

人権同和講演会では、現在でも身近なところで差別が起こっていて、本人の責任でないことで不平等な扱いを受け、人間としての尊厳を侵されていること、迷信が根強く残っていることをわかりやすく説明していただきました。

宇井美智子氏の講演会では、「天の時・地の利・人の和」を活かすことが必要で、商売でのチャレンジができるチャンス・良い品物があっても、人の和がなければ発展もせず、お金も役立たないこと。

また、マスコミなどは以前は「頑張る」「再起」が注目されていたが、最近では縁結びに注目していること。女性部は3つのワーク①チームワーク(目標確認)②フットワーク(体調管理)③ネットワーク(人脈拡大)が重要であることを話していただきました。

様々なテーマの講演を受け、日頃気づかないことや大切な事は何なのかを気づかされる良い機会になりました。



▲講師の遠藤勵志氏

経営改善長期借換資金が創設されました

中小企業金融円滑化法が平成25年3月末をもって終了されますが、県内中小企業者を取り巻く資金環境は依然として厳しいことから、この出口戦略の一つとして返済期間の長期な借換資金が創設されました。

制 度 名	経営改善長期借換資金		
対 象 者	中小企業者又は組合であって、次の用件の全てに該当し、経営改善に取り組むために既往借入金の借換資金を必要とするもの (1) 商工会議所等の指導機関の指導を受け、経営改善計画を作成していること。 (2) 商工会議所等の指導機関の指導を継続して受ける体制が確保されていること。 (3) 取引金融機関等の支援体制が確保されていること。		
融 資 限 度 額	8,000万円		
資 金 使 途	運転資金		
融 資 期 間	15年以内（据置期間1年以内を含む）		
返 済 方 法	原則、元金均等分割返済		
貸 付 利 率	責任共有利率 年2.05%（固定） 責任共有外利率 年1.09%（固定）	※融資期間が10年以内のとき 年1.75%（固定） 年1.60%（固定）	
信用保証料率	年0.4%～年1.7%		
担 保	取扱金融機関又は信用保証協会の決定によります		
連 帯 保 証 人	法人代表者以外は原則として不要です		
取 扱 期 間	平成24年12月3日～平成27年3月31日		

○セーフティネット5号認定を受けている場合、融資利率・信用保証料率は責任共有外の利率・保証料率となります。

必ずチェック

最低賃金!

使用者も、労働者も。

最低賃金が改定されました!		時間額	引上額	効力発生日
鳥根県最低賃金		652円	6円	H 24. 10. 14
産業別最低賃金	製鋼・製鋼圧延業、鉄素形材製造業	763円	6円	H 24. 12. 12
	はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業	750円	6円	H 24. 12. 27
	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	700円	4円	H 24. 12. 30
	自動車・同附属品製造業	751円	5円	H 24. 12. 28
	百貨店、総合スーパー	704円	-	H 22. 12. 12
	自動車（新車）小売業	720円	6円	H 24. 12. 29

- 注意
1. 最低賃金は、常用・臨時・パートなどすべての労働者に適用されます。
 2. 最低賃金の対象となる賃金には、時間外・休日・深夜手当や結婚手当、通勤手当、家族手当などは含まれません。
 3. 年齢、従事する業種の内容などによって、適用される金額が異なる場合があります。

税制改正のあらまし

所得税

平成24年分の所得税について改正がありました。主な改正をご紹介します。

①生命保険料控除が改組されました

	契約締結日	
	H23年12月31日以前	H24年1月1日以後
一般の生命保険料	最高5万円	最高4万円
介護医療保険料	—	最高4万円
個人年金保険料	最高5万円	最高4万円

合計適用限度額10万円→12万円に引き上げ

*平成24年1月1日以降に保険契約した保険料については控除額の計算が異なりますのでご注意ください

②減価償却資産の定率法の償却率が引下げになりました

改正前	平成19年4月1日以後の取得…定額法償却率の2.5倍
改正後	平成24年4月1日以後の取得…定額法償却率の2.0倍

*個人事業者の方は平成24年中に取得した償却資産は改正前の償却率で計算が可能です。

③源泉徴収税額表が変わります。(H25年1月1日から)

*源泉所得税を徴収する際、復興特別所得税を併せて徴収し、源泉所得税と復興特別所得税を納付することとなりました。

④更正の請求の期間延長

1年→5年

⑤中小企業者の少額減価償却資産の取得価格の必要経費算入の特例

適用期限 H26年3月31日まで延長

消費税

事業者免税点制度の適用見直し

基準期間の他に特定期間に課税売上（または給料等の支払）が1000万円を超えた場合は課税事業者となります。

*特定期間（個人）

その年の前年1月1日から6月30日

*特定期間（法人）

前事業年度開始の日から6ヶ月間

[適用開始時期]

平成25年1月1日以後に開始する年又は事業年度から

お知らせ

確定申告相談

税理士先生による所得税及び消費税の申告相談会

指導日	時間	会場
3月5日 (火)	13:00 ~16:00	安来市商工会 本所
3月6日 (水)	13:00 ~16:00	安来市商工会 伯太支所
3月12日 (火)	13:00 ~16:00	安来市商工会 本所
3月13日 (水)	13:00 ~16:00	安来市商工会 伯太支所



十月二十三日、松江市のホテル一畑において山陰中央新報地域開発賞の授賞式が開催され、藤原敏孝氏（株式会社フアデコ）が受章されました。

農機具の製造からOA機器や産業用の機械器具部品の製造へと業績を拡大されてこられました。この間雇用の拡大に努め、環境問題にも積極的に取り組み、地域振興・産業振興に尽力されたものです。

山陰中央新報地域開発賞 藤原敏孝氏

島根県知事感謝状

梅林 守氏

十月二十二日、松江市のサンラポーむらくもで開催された商工会しまね県大会において、梅林守理事に多年役員として商工会の運営と地域商工業の振興に尽力された功績により、島根県知事感謝状が贈られました。

昭和五十四年、当時の広瀬町商工会の理事に就任以来、地域と連携を保ちながら商工業の振興に努めてこられたものです。



戦国武将 山中鹿介にあやかった「祈月札」を販売!!

戦国大名 尼子氏の再興を目指した武将 山中鹿介の不撓不屈の精神にあやかり、困難に立ち向かう勇氣や逆境に負けない心を授ける祈月札（きつきふだ）の販売を開始しました。

山中鹿介は宿敵毛利に奪われた月山富田城の奪還と尼子再興の為に三笠山に掛かる三日月に向かつて「願わくば我に七難八苦を与え給え」と祈り、



度重なる困難に立ち向かい続けたと伝えられております。この不撓不屈精神が尊重され、戦前の国定教科書に「三日月の影」として掲載されております。

この祈月札は三日月型の木札と願い事を記入する願い文がセットになっており、月山富田城跡の山中鹿介像の前で木札を手に持って両手を合わせ、三笠山に向かつて受験の成功や商売繁盛などを祈り、続いて、千畳平にある尼子神

社の前で願い文にその思いを記した後、社殿にある「願い箱」に納めるというものであります。今年九月からスタートした広瀬の町歩き事業の魅力向上を図り、当地域への誘客促進に繋げることを目的に商工会で企画致しました。

祈月札は一枚三百円で広瀬紺センターや安来駅内観光交流プラザ、三日月公園内のカフェ桜にて販売しております。旧暦の三日にあたる十一月十六日には販売に先駆けて祈願祭を執り行い、この企画の成功を祈願しました。

東日本大震災などの度重なる自然災害や長引く景気低迷など、現在、日本は正に逆境の時代であると言えます。こんな時代だからこそ山中鹿介の不撓不屈の精神が必要であり、この祈月札がこれから何かに挑戦する人に勇氣を与え、逆境を乗り越える後押しになれば幸いです。